

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度(令和2年度)	科目名	Web開発基礎
科目基礎情報				
開設学科	情報処理科	コース名	システム運用コース	開設期 後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 60時間
単位数	4単位	開講時間	火曜 1時限目～	授業形態 講義・実習
教科書/教材	HTML&CSSコーディングとサイト制作の教科書(技術評論社)			
担当教員情報				
担当教員	下川 洋一	実務経験の有無・職種	有・プログラマー	
学習目的				
本講義を受講する学生は、HTML5とCSS3によるWebコンテンツの作成技法を習得する。昨今のWebコンテンツにおいては広告、宣伝効果が大きく、ビジネス戦略としても重要な位置づけにある。Webコンテンツを通じて効果的な情報発信が可能となる能力を身に付けることは、将来どのような職種、業種へ就職したとしても有意義に生かすことができる。本講義では、Web開発の基礎技術について理解を深め、2年次に履修するWebアプリケーション開発へ連携させることを目的とする。				
到達目標				
この科目では学生がHTML5、CSS3、JavaScriptなどのWebの仕組みを体系的に理解し、Webコンテンツの作成方法および環境構築方法を具体的に理解できるようになることを目標としている。また、Webコンテンツを作成する課題を通じて、制作技術を習得すると共に、学生が自ら調べることや、工夫することにより、実学に基づく問題解決力を養うことも目標とする。				
教育方法等				
授業概要	本講義は、Web開発に必要な基礎知識と実装できる能力を養うための学習を行う。具体的には、HTML5の各要素の学習から開始し、実践的なWebコンテンツをつくるためのCSS3によるデザインやレイアウトの基礎を学ぶ。また、毎回の授業で、課題を提示し、理論を実践することで、学習したことに対する理解度向上を図る。最終的には、すべての学習を踏まえ、Webサイト制作の総合演習課題へ取り組み、知識の定着を図り、2年次のWebアプリケーション開発へつなげていく。			
注意点	本授業は、実習をベースとするため、学生が自ら積極的に学習する姿勢を評価する。具体的には、毎回の授業で提示する課題の提出物の完成度で理解度や習得度を評価する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は、講義内容に対する十分な理解と学習不足が懸念されるため、総合演習課題を評価しない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	90%	総合演習30%と課題60%の配分で評価する(各課題を100点満点で採点し、60点以上を合格とする)	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画(1回～15回) 1回(4)時間 ※45分を1時間とする				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	wwwやwebサイト制作の基本	WWWの概要とWebサイト制作の流れ、構成要素を理解し、制作に必要なソフトを導入する		
2回	HTMLコーディングの基本	HTMLの骨組みと基本文法を理解する		
3回	画像表示とリンク	リンク構造とパスを理解し、画像とハイパーリンクを組み入れたWebページを作成できる		
4回	リストとナビゲーション	リストとナビゲーションの用途について理解し、これらを組み入れたWebページを作成できる		
5回	表組み	表を取り入れたWebページを作成できる		
6回	フォーム	フォームの仕組みを理解し、フォームを含むWebページを作成できる		
7回	CSSコーディングの基本	CSSの概要をはじめ、基本文法とCSSの作成・リンク方法を理解する		
8回	見出しや段落のスタイリング	見出しや段落に対するスタイル設定を行うことができる		
9回	CSSレイアウトの基本	CSSにおけるレイアウトの考え方を理解し、要件に応じたレイアウトを実装することができる		
10回	ページ全体のレイアウト	画像の配置や文字列の回り込みについて理解し、要件に応じたレイアウトを実装することができる		
11回	リストとナビゲーションのスタイリング	リストとナビゲーションをスタイリングすることができる		
12回	表とフォームのスタイリング	表やフォームをスタイリングすることができる		
13回	webサイト制作の実践・総合演習	これまで学習した要素を組み入れたWebサイトを制作することができる		
14回	総合演習	これまで学習した要素を組み入れたWebサイトを制作することができる		
15回	総合演習・まとめ	これまで学習した要素を組み入れたWebサイトを制作することができる		